2019 年度事業 進捗報告書（資金分配団体）

● 提出日：2022 年 10 月 28 日
● 事業名：大災害後の生活再建推進事業～企業・地域・NPO が連携し地域コミュニティと経済再生を目指す～
● 資金分配団体：一般社団法人 RCF

1　　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
【生活再建支援】 再建に向けて不安を抱える被災住民が気兼ねなく足を運べる場づくり	・伊豆山地区にて、3 つの地区にて、キーとなる支援団体と連携し、それぞれの課題への取組みができているか否か ※①浜エリア：伊豆山地区にて建物被害にあわれている地域、②中道公民館エリア：被災されていない方も多い、地域として残っている方が多い、被災者を避難している地域、②'キダエリア：訴訟等に深く関わっている地域、③上記エリアにて、被害に合われて、遠隔	・月 1 回・20 名程度の手芸教室の実施 ・年間 120 名参加の映画祭開催 ・プランター配布(年間 1,000 個の苗) ・カフェ利用月 20 名程度(チケット利用)	2023/03/31	【目標：参加人数 20 名・実績：11 名】 【目標：累計 120 名・実績：累計 32 名】 【目標：配布数 240 チケット・実績：※集計中。配布に関しては別団体と連携し対応中】 【目標：配布 100 個・実績：30 個】 ・1)中道エリア、2)浜エリアについては、実行団体が、社会福祉協議会・地域支え合いセンター、地域内の自治会長(2 人)、OBJ やテンカラセン等の地域内支援団体と連携し、コミュニティ活動への呼び込みを実施している ・住民へのアクセスが十分ではないため、①OBJ・テンカラセンと連携した企画を実施、②地域支え合いセンターと連携した、域外への避難者へのアプローチ、③自治会長・地域支え合いセンターと連携した地域内の企画の	2

	地区として避難している湯河原地区			推進を図っている状況である ・上記を通して、より多くの住民に活動を認知いただき、住民ニーズを理解した企画や開催方法を継続検討する	
【事業者支援】 ・オンラインショップ開設・運営 ・バケートプラグラム提供 ・ブルーカーボンクレジット整備 ・浜焼き開催	・漁師の売上	・オンラインサイトを開設し、売り上げが経ち始めている ・観光コンテンツを企画し、半年に1回実施できている ・月1万のオンライン売上 ・月5万のバケートプログラム売上 ・年間7万程度のカーボンクレジット設立 ・月3万の浜焼き売上	2023/03/31	【目標：売上1万円/月・実績：売上0円　※立ち上げ中】 【目標：売上5万円/月・実績：売上0円　※立ち上げ・今後実施予定】 【目標：売上7万円/1t・実績：売上0円】 【目標：売上 3 万円/月・実績：売上 137,000円/2か月】 ・売上確保の企画については、オンラインサイトは、ニーズはあるが、現状、開始の決定権を持つ漁師リーダーにて開始を止めている状況である。そのため、改めて、消費者への直接販売を行う機会を通して、漁師のリーダー自体がオンライン販売開始に向けた意識を向上する機会を提供し、対応を進める予定 ・バケートプランは開始済みである。今後、地域外含めて利用促進していく予定 ・カーボンクレジットについては、設立に向けて地域内で調整中 ・浜焼に関しては、月額目標を2か月間達成。今後も、花火大会等の日を考慮し、開催していく予定で調整中	2

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
＜共通＞ノウハウを提供	・支援団体が抱える課題を解決し、事業の進捗をサポートできているか	・支援団体が抱える課題を随時把握し、必要なタイミングで必要なアドバイスを提供できている ・その結果、支援団体が目標に対し、問題なく事業を進捗できている	2023/03/31	・漁師のオンライン販売については、現地の状況を事細かに、都度確認を行い、その状況にあった施策を提供。施策について、継続議論 ・域内を中心とした住民支援についても、企画・プランター配布等について、地域の住民のより広くサポートしている OB J、テンカラセン、地域支え合いセンターに支援情報・内容、企画内容に関して情報提供・交換を行い、一緒に対応できる方策を探る等を定例会の中でディスカッションし、住民に対して、間接的にも支援できる道を模索。地域支え合いセンターに関しては、食を活用した、域外支援について共同で実施する方向で、RCF の団体ネットワークを生かしながら推進予定	2
地域内での行政、他の支援団体と連携	・開始時のヒアリング ・実施中の課題・対応策整理フォローと、行政・支援団体との連携案のアドバイス	・行政、支援団体へのヒアリング実施(5 団体、行政窓口) ・行政、支援団体(2-3 程度)と連携した活動	2023/03/31	【ヒアリング実施まだなし。今後調整し対応】 ・実行団体が、地域内の団体へのヒアリング、情報交換を通して、少しずつ連携し、地域支え合いセンター、地域内の自治会長(3 地区)を含んだ定例会議、実行団体の活動における情報発信や支援提供における協力依頼等に結び付けている状況 ・今後、誰に、どういったヒアリングを行っていくかは、実行団体と連携し、検討していく予定	2

熱海市外の湯河原への遠隔避難者への支援アプローチが生まれている状態	・RCF のノウハウを活用した事業を実施・検証できているか	・湯河原への避難者を巻き込む取組みが 1 つでも実施されている状態	2023/03/31	・地域支え合いセンターに、実行団体とともに訪問し、RCF のネットワークを生かした取組みとして紹介し、実施の方向で調整中。11 月住民向けの情報発信、12 月実施の方向で調整予定	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし ☒短期アウトカムの内容 ☐短期アウトカムの表現 ☒短期アウトカムの指標 ☒アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・地域内での呼びかけ、人数制限により、コミュニティ活動を実施。地域内では、問題なく、コロナ禍でもコミュニティイベント実施ができた状況
6. 実行団体の進捗に関する報告
・漁師の収入源確保に向けた取組は、上記記載している通り、開始に向けた課題が残っている。計画通り推進ではなく、創意工夫し、オフラインでの呼びかけも含めた対応を進め、ニーズが見えている、課題解決の動きができるように進めていく ・地域内の支援団体と連携した、住民への支援活動の拡張について進めている状況。プランターやコーヒーチケットの配布を、域内の支援を重点的に実施している支援団体と、域外の支援を行っている地域支え合いセンターと連携し行い、少しでも、地域内でのコミュニティ活動の認知を高めて、住民参画を促す動きをしていく予定

③広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

2.広報制作物等

3.報告書等